

■ 地域住民の協力による農業体験活動

★活動に関連する目指す子ども像



「地域の特徴やよさを支える人の努力に気付く子ども」
「自ら進んで地域社会に関わろうとする子ども」

□ 活動の概要



地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、地域が人々の努力や工夫により支えられていることに気付き、学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら進んで地域社会に関わる意識を高めることをねらいとして、第5学年の総合的な学習の時間に近隣町の農園を訪問する体験活動を実施しています。

□ 活動の具体

- ・地域住民の協力のもと、スマート農業の見学や「田植え」「稲刈り」などの体験を通して、稲作に係る苦労を実感することができる活動を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・農業における先端技術についての知識を深めるために、無人トラクターを活用したスマート農業を見学するなど、地域住民と目的を共有し、体験活動等を実施できる計画を立てています。
- ・高齢化や働き手不足など、農業の課題について考えたり、食生活を大切にする意識や農業に携わる人々への感謝の気持ちを育んだりするなど、地域の方と交流したり、地域の課題解決を考えたりする学習活動を年間指導計画に位置付けています。